

武蔵野市在宅医療・介護連携推進事業  
国の定める8事業への取り組みについて

	平成27年度の実績	平成28年度の実績	平成29年度の実績	平成30年度の実績	令和元年度の実績
ア	・既存資料の活用と情報収集	・リハビリテーション機関名簿のWEB化 ・既存資料の活用	・既存資料の活用 ・リハビリテーション機関名簿のWEB化	・既存資料の活用 ・リハビリテーション機関名簿のWEB化	・既存資料の活用 ・リハビリテーション機関名簿のWEB化 ・WEBマップの検討
イ	・平成27年7月 協議会設置（2回開催） ・4部会の設置	・協議会の開催（3回開催） ・4部会の活動を継続	・協議会の開催（3回開催） ・認知症連携部会を新設し5部会設置	・協議会の開催（3回開催） ・5部会で活動	・協議会の開催（3回開催） ・5部会で活動。
ウ	・「入退院時支援部会」の設置 ・脳卒中のセルフマネジメント支援のモデル事業（※）への協力 ・入退院時の情報共有と課題の検討 ・脳卒中地域連携バスの他疾患の活用を検討 ・訪問看護と介護の連携強化事業	・「入退院を繰り返す可能性のある要介護者等における再発防止のためのセルフマネジメントの在り方に関する調査研究事業」への協力 ・訪問看護と介護の連携強化事業 ・認知症初期集中支援チームの設置	・入退院時支援の現状の課題を事例を通して検討 ・認知症連携部会高齢者及び家族を取り巻く医療・介護連携の課題の検討	・入院時の病院への情報提供の仕方について検討 ①「入院時情報連携シート」を作成し試行 ②今後の「入院時情報連携シート」の活用方法について検討 ・認知症高齢者を支援するための医療と介護のチームによる連携の体制づくりについて検討	・入院時の病院への情報提供の仕方について、「入院時情報連携シート」を作成し活用 ・退院時の情報提供について看護サマリーの活用状況調査 ・身寄りのない入院患者の意思確認方法について検討 ・認知症高齢者を支援するための医療と介護のチームによる連携の体制づくりについて検討
エ	・「ICT連携部会」の設置 ・ICT連携関係者会議の開催 65名参加 ・「武蔵野市におけるICT連携のルール」を作成 ・ICT連携登録数 304名（平成27年度報告書より）	・ICT活用の進捗管理と課題抽出 ・活用の実際を共有するための「活用事例集」の検討 ・ICT連携登録数 453名（平成28年度報告書より）	・ICT連携の現状把握（患者グループの現状）と今後の連携のあり方について検討 ・ICT連携登録数 521名（平成29年度報告書より）	・ICT連携の現状把握 ・ICT連携登録数 565件 ・医師会「在宅医療介護連携支援室」のホームページの検討	・ICT連携の現状把握 ・ICT連携登録数（元年12月末現在）595件 ・医師会「在宅医療介護連携支援室」のホームページの開設予定（2月）
オ	・相談実績 121件 ・医師会の窓口として（ア）～（ク）8事業へ参加	・相談実績 180件 ・医師会の窓口として（ア）～（ク）8事業へ参加 ・在宅介護・地域包括支援センター研修会への参加	・相談実績 222件 ・医師会の窓口として（ア）～（ク）8事業へ参加、各部会への参加	・相談実績 201件 ・医師会の窓口として（ア）～（ク）8事業へ参加、各部会への参加	・相談実績（元年12月末現在）159件 ・医師会の窓口として（ア）～（ク）9事業へ参加、各部会への参加
カ	・「多職種連携推進・研修部会」の設置 ・脳卒中地域連携合同研修会の開催 113名参加 ・多職種連携合同研修会 73名参加	・多職種合同研修会の開催 70名参加	・「摂食嚥下機能障害」をテーマに合同研修と合同グループワークを実施 ①合同研修 3回 計 191名参加 ②合同グループワーク 78名参加 ・講演会「地域で食べるを支えるということ」 計 133名参加	・「薬に関すること」をテーマに合同グループワークを実施（78名参加） ・他の職種との連携の広がり、テーマに対する知識の深まりの確認のため、3か月後にアンケートを実施	・「ACP」をテーマに事前研修と合同グループワークを実施 ①事前研修（講演会） 147名参加 ②合同グループワーク 77名参加 ・他の職種との連携の広がり、テーマに対する知識の深まりの確認のため、3か月後にアンケートを実施
キ	・「普及・啓発部会」の設置 ・リーフレットの作成 ・武蔵野市地域医療連携フォーラム 「地域で支える在宅医療～多職種連携による地域包括ケアシステムを考える～」の開催 400名参加 ・「ケアリンピック武蔵野2015」の開催 783名参加	・在宅療養に関するリーフレットの作成 ・講演会「いつまでも住み慣れた地域で暮らす」 173名参加 ・「ケアリンピック武蔵野2016」 963名参加	・市民向けセミナー開催 12月16日（土） 89名参加 「もしあなたが望むなら家で最期まで暮らせませす～安心してくらし続けるために、知っておきたい制度と心構え～」 ・「ケアリンピック武蔵野2017」 612名参加	・市民向けの普及啓発について検討 ①市民向けセミナー開催 2月16日（土）スイングホール 178名参加 「住み慣れた地域で、で最期まで自分らしく暮らし続けるために～いのちの終わりについて話し合うアドバンス・ケア・プランニング（ACP）～」 ・地域で行う小規模セミナー試行実施 3月11日（月）7名参加 ・「ケアリンピック武蔵野2018」 868名参加	・市民向けの普及啓発について検討 ①市民向けセミナー開催予定 2月15日（土）午後2時～4時 スイングホール 「住み慣れた地域で、安心して医療と介護を受けるために～在宅への復帰を支援する『地域包括ケア病床』～」 ②小規模セミナーの受講体験（2月27日） ・「ケアリンピック武蔵野2019」704名参加
ク	・北多摩南部脳卒中ネットワーク研究会 ・三鷹武蔵野認知症連携を考える会	・既存のネットワークの強化 ・リハビリテーション機関名簿のWEB化【（ア）再掲】	・北多摩南部保健医療圏による情報共有 ・リハビリテーション機関名簿のWEB化 ・東京都在宅療養担当者連絡会への参加、情報共有	・北多摩南部保健医療圏による情報共有 ・リハビリテーション機関ナビの更新準備 ・東京都在宅療養担当者連絡会への参加、情報共有	・北多摩南部保健医療圏による情報共有 ・リハビリテーション機関ナビの更新準備 ・東京都在宅療養担当者連絡会への参加、情報共有